

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月7日

上場会社名 三菱レイヨン株式会社

上場取引所 東大

コード番号 3404 URL <http://www.mrc.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 社長執行役員 (氏名) 鎌原 正直

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 指山 正敏

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

TEL 03-5495-3100

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	62,180	△31.9	△5,683	—	△6,304	—	△5,257	—
21年3月期第1四半期	91,336	—	2,341	—	3,513	—	1,223	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△9.19	—
21年3月期第1四半期	2.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	615,430	166,687	24.3	261.72
21年3月期	408,933	160,995	36.1	258.26

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 149,767百万円 21年3月期 147,790百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	3.00	—	1.00	4.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

平成22年3月期の期末配当予想については、業績の見通しが極めて不透明であることから、引き続き未定としています。今後、業績の動向を見極め、公表が可能となった時点で速やかに開示します。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	148,000	△25.4	△4,600	—	△7,600	—	△7,000	—	△12.23
通期	370,000	7.2	4,600	—	500	—	△1,000	—	△1.75

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 14社 (社名 Lucite International Group Holdings Limited 他13社) 除外 1社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 599,997,820株 21年3月期 599,997,820株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 27,754,615株 21年3月期 27,745,251株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 572,248,955株 21年3月期第1四半期 572,370,014株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。また、業績予想数値には、退職給付会計における数理計算上の差異の平成20年度発生額の償却費として第2四半期連結累計期間約26億円、通期約49億円が、営業費用として含まれています。

なお、上記の業績予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の海外経済は、足下では金融市場の混乱が徐々に緩和に向かい、実体経済の急激な落ち込みにも歯止めがかかる兆候が見え始めるなど、最悪期を脱しつつありますが、米国や欧州を中心に景気回復のペースは遅く、全体としては依然厳しい状況が続きました。日本経済においても、輸出に下げ止まりの動きが見られますが、雇用情勢は依然として厳しく、設備投資の落ち込みが続くなど、景気は厳しい状況が続きました。

このような経営環境の中で、当社グループは、昨年度からスタートした第6次中期経営計画「グローバルUS→2010」を推進し、本年5月には、世界最大手のMMAメーカーである英国ルーサイト社の買収手続きを完了し、連結子会社化するなど、MMA系事業におけるグローバルNo.1企業の地位構築に取り組みました。しかしながら、昨年度後半から急速に減退した需要の回復ペースは遅く、前年同期比で大幅な減収、減益となりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は621億80百万円(前年同期比31.9%減)、営業損失は56億83百万円(前年同期は23億41百万円の営業利益)、経常損失は63億4百万円(前年同期は35億13百万円の経常利益)、四半期純損失は52億57百万円(前年同期は12億23百万円の四半期純利益)となりました。

なお、平成17年度より退職給付会計における数理計算上の差異の処理方法を、発生の翌年度に営業費用として一括償却する方法に変更しており、数理計算上の差異償却額(前第1四半期連結累計期間は15億74百万円の損、当第1四半期連結累計期間は14億34百万円の損)を除いた当第1四半期連結累計期間の営業損失は42億48百万円(前年同期は39億15百万円の営業利益)、経常損失は48億70百万円(前年同期は50億87百万円の経常利益)となります。

事業の種類別セグメントの概況は次のとおりです。

化成品・樹脂事業

MMAモノマーは、アジア向けの需要が回復しましたが、国内の透明樹脂用途を中心に需要低迷が続く、全般に低調でした。アクリル樹脂成形材料及びアクリル樹脂板は、海外では導光板用途を始めとしたIT関連を中心に販売量が回復し始めたものの、国内での需要の回復は鈍く、全般に低迷しました。コーティング材料は、船舶塗料用途は引き続き堅調でしたが、主力の自動車塗料用途では海外の需要回復が遅れ、低調に推移しました。

なお、本年5月に連結子会社となったルーサイト社の経営成績については、第2四半期連結累計期間から反映する予定です。

アクリル繊維・AN及び誘導品事業

アクリル短繊維は、特化素材を中心に中国向け輸出が回復の兆しを見せていますが、全体としては世界的な需要減退の傾向は変わらず、収益は依然低迷しています。一方、中国での原綿生産の休止、日本での原綿生産能力の大幅縮小等の抜本的な構造改革施策の効果が出始めました。

アクリロニトリル(AN)は、大幅に落ち込んだ需要の回復が鈍く、製品価格も弱含みに推移したことから、収益は低迷しました。

炭素繊維・複合材料事業

炭素繊維・複合材料は、長期的には炭素繊維市場全体の成長基調に変化はないものの、短期的には世界的な景気後退等の影響を受け、競争環境は厳しさを増しています。各社の新設・増設計画も延期や中止が発表され、生産調整は本格化していますが、急速に落ち込んだ需要は低迷を続けており、収益は悪化しました。なお、産業用途での大型構造物向けに開発した新タイプの炭素繊維「パイロフィルP330シリーズ」については、市場開拓を推進しています。

アセテート、機能膜事業その他

アセテート繊維他事業において、三菱レイヨン・テキスタイル(株)は、トリアセテート長繊維「ソアロン」が国内で需要減退が続く、海外でも主力の米国向けを始めとして需要の回復は鈍く、生産調整も実施しましたが、収益は低迷を続けました。

機能膜事業については、家庭用浄水器は、住宅設備市場の不振が続く、販売は低調でした。機能膜製品も、中国での下排水処理物件の遅れ等の影響もあり、全般に低迷しました。

エンジニアリング事業については、設備投資が抑制される厳しい環境が続く、苦戦を強いられました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態

当第1四半期連結会計期間末の総資産及び負債について、本年5月に買収手続きが完了したルーサイト社の財政状態を連結貸借対照表に含めたことにより、大幅な増加となりました。

総資産は、前連結会計年度末と比べて2,064億96百万円増加し、6,154億30百万円となりました。そのうち流動資産については、現金及び預金や、受取手形及び売掛金が増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べ395億39百万円増の2,072億75百万円となりました。また固定資産については、機械装置及び運搬具や、ルーサイト社買収に伴いのれんが増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べ1,669億57百万円増の4,081億54百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末と比べて2,008億5百万円増加し、4,487億42百万円となりました。そのうち流動負債については、支払手形及び買掛金や、ルーサイト社買収のための短期借入金の増加などにより、前連結会計年度末と比べ1,705億98百万円増の3,060億91百万円となりました。また固定負債は、長期借入金や、退職給付引当金の増加などにより、前連結会計年度末と比べ302億6百万円増の1,426億51百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末と比べて56億91百万円増加し、1,666億87百万円となりました。これは、利益剰余金が減少した一方で、市場の変化に伴う評価・換算差額等の変動及び少数株主持分の増加などによります。

(2) キャッシュ・フロー

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて174億3百万円増の628億94百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失の計上66億93百万円等による支出に対して、減価償却費の計上62億95百万円、売上債権の減少48億13百万円及び仕入債務の増加73億57百万円等による収入により、前第1四半期連結累計期間と比べ47億63百万円増の167億92百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得111億89百万円等の収入に対して、有形固定資産の取得113億2百万円、企業の買収に伴う子会社借入金の返済1,531億87百万円等による支出があり、前第1四半期連結累計期間と比べ1,439億40百万円増の1,540億77百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増額1,447億66百万円、長期借入れ75億円及び企業の買収に伴うデリバティブ取引50億91百万円等による収入などがあり、前第1四半期連結累計期間では18億74百万円の支出であったのに対して、1,539億53百万円の収入となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の第2四半期連結累計期間の事業環境は、中国をはじめとしたアジア諸国での景気対策の効果が始まりましたが、大幅に落ち込んだ需要の回復には時間を要するとみられ、加えて原燃料価格に上昇の動きもあるなど、依然として厳しい状況が続いています。また、通期の事業環境についても、期後半にかけて需要の回復が見込まれますが、先行き不透明な状況が続くものと予想しています。これにより、平成21年8月7日付けで業績予想の修正を行っています。

第2四半期連結累計期間の業績予想については、売上高は前回予想から30億円増収の1,480億円、営業利益は61億円減益の46億円の営業損失、経常利益は81億円減益の76億円の経常損失、当期純利益は65億円減益の70億円の純損失を予想しています。

また、前回未定とした通期の業績予想については、売上高は3,700億円、営業利益は46億円、経常利益は5億円、当期純利益は10億円の純損失と予想しています。

具体的な内容については、「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、平成22年3月期の連結業績予想においては、退職給付会計における数理計算上の差異償却額として第2四半期連結累計期間約26億円、通期約49億円を営業費用に含めて算定しています。

数理計算上の差異償却額を除いた平成22年3月期の連結業績予想は次のとおりです。

(%表示は通期は対前期(※)、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期(※)増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期 連結累計期間	148,000	△25.4	△2,000	—	△5,000	—	△5,500	—	△9	61
通 期	370,000	7.2	9,500	—	5,400	152.2	1,900	—	3	32

(注) ※対前期及び対前年同四半期は、数理計算上の差異償却額を除いた実質ベースにて増減率を算出しています。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

当第1四半期連結累計期間において、連結子会社であるMRC Group Holdings (UK) Limitedを通じて、Lucite International Group Limitedの発行済株式の全てを取得し、同社並びに同社の子会社を連結子会社としました。これによる連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動(新規)は以下のとおりです。

名称	資本金	間接所有 議決権割合	事業の内容
Lucite International Group Holdings Limited	175 百万GBP	100%	化成品・樹脂事業
Lucite International Investment Limited	175 百万GBP	100%	化成品・樹脂事業
Lucite International Holdings Limited	175 百万GBP	100%	化成品・樹脂事業
Lucite International Holdco Limited	185 百万GBP	100%	化成品・樹脂事業
Lucite International Partnercol Limited	47 百万GBP	100%	化成品・樹脂事業
Lucite International Partnerco2 Limited	47 百万GBP	100%	化成品・樹脂事業
Lucite International Partnership Holdings	157 百万US\$	100%	化成品・樹脂事業
Lucite International US Delaware Holdings LLC	324 百万US\$	100%	化成品・樹脂事業
Lucite International Holdco, Inc.	324 百万US\$	100%	化成品・樹脂事業
Lucite International Dollar Finco Limited	430 百万US\$	100%	化成品・樹脂事業
Lucite International Euro Finco Limited	114 百万EUR	100%	化成品・樹脂事業
Lucite International US Investment Limited	498 百万US\$	100%	化成品・樹脂事業
Lucite International Inc.	363 百万US\$	100%	化成品・樹脂事業
Lucite International Singapore PTE Limited	122 百万US\$	100%	化成品・樹脂事業

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却または除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっています。なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっています。

②繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化がなく、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、または一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっています。

③税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益(損失)に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(損失)に当該実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しています。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	62,894	45,491
受取手形及び売掛金	71,068	55,831
製品	38,048	31,285
仕掛品	3,296	3,311
原材料及び貯蔵品	18,706	13,293
その他	14,414	19,193
貸倒引当金	△1,154	△670
流動資産合計	207,275	167,736
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	164,079	69,583
その他(純額)	118,787	100,218
有形固定資産合計	282,867	169,802
無形固定資産		
のれん	31,946	1,325
その他	18,943	3,931
無形固定資産合計	50,890	5,256
投資その他の資産		
投資有価証券	53,538	45,587
その他	20,947	20,631
貸倒引当金	△88	△80
投資その他の資産合計	74,397	66,138
固定資産合計	408,154	241,197
資産合計	615,430	408,933
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,230	31,344
短期借入金	218,858	71,511
引当金	2,346	7,527
その他	35,656	25,109
流動負債合計	306,091	135,492
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	62,138	51,517
退職給付引当金	37,573	27,321
その他の引当金	2,239	574
その他	10,699	3,031
固定負債合計	142,651	112,445

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債合計	448,742	247,937
純資産の部		
株主資本		
資本金	53,229	53,229
資本剰余金	28,588	28,588
利益剰余金	81,719	87,553
自己株式	△10,263	△10,264
株主資本合計	153,273	159,106
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,653	1,510
繰延ヘッジ損益	△146	△160
為替換算調整勘定	△10,013	△12,664
評価・換算差額等合計	△3,505	△11,315
少数株主持分	16,919	13,204
純資産合計	166,687	160,995
負債純資産合計	615,430	408,933

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	91,336	62,180
売上原価	73,414	54,363
売上総利益	17,921	7,816
販売費及び一般管理費		
賞与引当金繰入額	418	248
退職給付費用	581	593
研究開発費	3,577	3,459
その他	11,003	9,198
販売費及び一般管理費合計	15,580	13,499
営業利益又は営業損失(△)	2,341	△5,683
営業外収益		
受取利息	62	39
受取配当金	381	251
持分法による投資利益	464	—
為替差益	756	688
その他	294	181
営業外収益合計	1,957	1,161
営業外費用		
支払利息	543	693
資金調達費用	—	738
その他	242	350
営業外費用合計	785	1,782
経常利益又は経常損失(△)	3,513	△6,304
特別利益		
固定資産売却益	20	0
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	20	2
特別損失		
固定資産除売却損	386	186
減損損失	32	201
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	6	3
特別損失合計	425	391
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,108	△6,693
法人税等	1,537	△1,681
少数株主利益	347	245
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,223	△5,257

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,108	△6,693
減価償却費	6,439	6,295
減損損失	32	201
のれん償却額	178	187
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△282	12
前払年金費用の増減額(△は増加)	1,648	1,135
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△26	△29
受取利息及び受取配当金	△443	△290
支払利息	543	693
資金調達費用	—	738
為替差損益(△は益)	△30	△665
持分法による投資損益(△は益)	△464	142
投資有価証券評価損益(△は益)	6	3
固定資産除売却損益(△は益)	171	140
売上債権の増減額(△は増加)	7,489	4,813
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,855	1,746
仕入債務の増減額(△は減少)	5,464	7,357
未払消費税等の増減額(△は減少)	—	1,220
その他	△254	1,135
小計	15,726	18,145
利息及び配当金の受取額	443	290
利息の支払額	△448	△629
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,691	△1,013
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,029	16,792
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,656	△11,302
有形固定資産の売却による収入	66	11
有形固定資産の売却に係る手付金収入	—	1,150
投資有価証券の取得による支出	△4	△1,005
投資有価証券の売却による収入	—	4
子会社株式の取得による支出	—	△740
短期貸付金の増減額(△は増加)	△185	△34
企業の買収に伴う子会社借入金の返済による支出	—	△153,187
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	11,189
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△89
その他	△357	△72
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,137	△154,077

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,141	144,766
長期借入れによる収入	—	7,500
長期借入金の返済による支出	△2,470	△828
資金調達費用の支払額	—	△738
企業の買収に伴うデリバティブ取引による収入	—	5,091
配当金の支払額	△3,144	△585
少数株主への配当金の支払額	△58	△1,237
少数株主からの払込みによる収入	663	—
その他	△5	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,874	153,953
現金及び現金同等物に係る換算差額	△565	735
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△547	17,403
現金及び現金同等物の期首残高	17,361	45,491
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,814	62,894

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	化成品・ 樹脂事業 (百万円)	アクリル繊維・ AN及び誘導 品事業 (百万円)	炭素繊維・複 合材料事業 (百万円)	アセテート、 機能膜事業 その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	42,897	14,389	10,559	23,490	91,336	—	91,336
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,046	1,272	2	9,479	13,799	(13,799)	—
計	45,943	15,661	10,561	32,969	105,135	(13,799)	91,336
営業利益(又は営業損失)	1,616	(878)	1,403	133	2,275	66	2,341
[数理計算上の差異償却額を除く]	[2,615]	[(699)]	[1,622]	[310]	[3,849]	[66]	[3,915]

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	化成品・ 樹脂事業 (百万円)	アクリル繊維・ AN及び誘導 品事業 (百万円)	炭素繊維・複 合材料事業 (百万円)	アセテート、 機能膜事業 その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	30,130	8,758	5,607	17,684	62,180	—	62,180
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,370	484	8	8,099	10,962	(10,962)	—
計	32,501	9,243	5,615	25,783	73,143	(10,962)	62,180
営業損失	(1,502)	(705)	(2,985)	(713)	(5,905)	222	(5,683)
[数理計算上の差異償却額を除く]	[(560)]	[(592)]	[(2,787)]	[(531)]	[(4,471)]	[222]	[(4,248)]

(注) 1 当社グループの事業区分は、事業運営上の管理区分を基本として、事業及び製品の種類・性質、市場の類似性などを考慮して決定しています。

- 2 各事業区分に属する主要な製品の名称は次のとおりです。

事業区分	主要製品
化成品・樹脂事業	化成品、成形材料、アクリル樹脂板、コーティング材料、機能性コポリマー、UV硬化塗料、樹脂改質用コポリマー、アクリル系フィルム、液晶用プリズムシート、プラスチック光ファイバー、プラスチックロッドレンズ
アクリル繊維・AN及び誘導品事業	アクリル繊維、アクリロニトリル及び誘導品
炭素繊維・複合材料事業	炭素繊維、複合材料加工品、航空機材
アセテート、機能膜事業その他	アセテート繊維、ポリエステル繊維、ポリプロピレン繊維、浄水器、中空糸膜フィルター、人工炭酸泉製造装置、水処理機器システム、プラントエンジニアリング、建築関連材料

- 3 当第1四半期会計期間において、当社がルーサイト社を買収したことにより、化成品・樹脂事業における資産が前連結会計年度末と比べ202,055百万円増加しています。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	米国 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	72,073	11,653	7,609	91,336	—	91,336
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,928	2,217	158	9,304	(9,304)	—
計	79,001	13,871	7,768	100,641	(9,304)	91,336
営業利益	579	397	1,197	2,174	166	2,341

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	米国 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	51,447	7,037	3,695	62,180	—	62,180
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,179	1,198	46	5,424	(5,424)	—
計	55,627	8,236	3,741	67,605	(5,424)	62,180
営業利益(又は営業損失)	(5,701)	(343)	137	(5,907)	224	(5,683)

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 本邦以外の区分に属する主な国または地域

(1) アジア・・・中国、タイ

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	28,833	13,211	42,045
II 連結売上高(百万円)	—	—	91,336
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	31.5	14.4	46.0

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	20,345	6,703	27,048
II 連結売上高(百万円)	—	—	62,180
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	32.7	10.7	43.5

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 各区分に属する主な国または地域

(1) アジア・・・中国、タイ、韓国

(2) その他の地域・・・北米、ヨーロッパ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高です。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。